アカデミック・オフィス

2020年度秋セメスター 3回生演習（学部ゼミ）「専門演習 I」の履修申請について

大学院進学や日本国内での就職を考えている学生は、3回生演習で専門学習（ゼミ）の準備を始めておくことを勧めます。内容はゼミによって異なりますが、最終的な目標は「深い学習と討論によりテーマについての理解や、卒業論文の作成にあたって必要な専門知識と手法の理解を深めること」です。また、3回生までに蓄積した知識や技法を最大限に生かし、4年間の学習の集大成となる卒業論文を執筆するためのゼミとして4回生演習を開講しています。4回生演習では、学生自身がもっとも興味・関心のあるテーマについて1年間をかけて研究を行い、後半セメスターで卒業論文を完成させます。

1. スケジュール

ゼミ（専門演習I）を履修するためには、実際に履修するセメスターのひとつ前のセメスターで申請を行う必要があります。

実施概要	実施期間
ゼミガイダンス ／ ゼミクラス・シラバス発表	2020年5月20日（水） 14:00～ ※ガイダンスには原則参加して下さい。
指導教員とのゼミ相談期間	2020年5月21日（木）～6月16（火） ※各教員のシラバス内「ゼミ相談時間」の指示に従ってください。
申請期間	2020年6月17日（水）～7月1日（水）16:30:00 （日本標準時） ※manaba を使ったオンライン申請です。 **※締め切り後の申請は一切受理しません。**
申請結果発表	2020年7月22日（水） 15:00
履修開始時期	2020年 秋セメスター

2. 対象

3回生演習への新規申請が可能な学生は以下の通りです。

①現在演習を履修していない学生

②現在のセメスターとは異なる教員のゼミを次セメスターに希望する学生

→現在のゼミをキャンセルした上で新しいゼミに申請して下さい。

③現在留学中で、次セメスターにAPUでの学修を再開予定の学生

④現在休学中で、次セメスターに復学予定の学生

日本語基準学生（英語スタンダードトラック）が英語開講の3回生・4回生演習科目を履修する場合は、申請時に英語中級A・B の単位修得をしていることが必要です。ただし、両言語開講（E/J）の演習科目を履修する場合や、復学・再入学により2011年度カリキュラムに変更された学生は、この条件は当てはまりません。

※なお、以下の学生は、別の申請期間「2020年7月22日（水）～8月5日（水）」に申請する必要がありますのでご注意ください。

① 再入学予定
② 編転入生
③ RU、また海外からの交換留学生

3. サブゼミ

各自の専門分野についてさらに深く学習する意欲のある学生については、下記条件を満たす場合のみ、1セメスターにつき2つのクラスで演習科目を受講することが許可されます。

〈サブゼミ履修条件〉

①1つ目の演習科目（メインゼミ）と、2つめの演習科目（サブゼミ）の両方に申請し、かつ両方の担当教員が受講を許可した場合。（メインゼミの履修申請を行っていない場合や不許可になった場合は、サブゼミ履修は許可されません。）

②サブゼミクラスの定員に空きがあること。

③メインゼミとサブゼミの時間割が重複しないこと。

※時間割発表の時点で時間割重複が明らかになった場合、 サブゼミの受講は自動的に取り消されます。

〈申請方法〉

申請方法については、下記「5. 申請手順」を確認して下さい。

4. 注意事項

（1）申請可能クラスについて

メインゼミでは、自学部で開講される3回生演習のクラスのみ履修することができます。他学部で開講される3回生演習クラスを履修するには、サブゼミとして履修申請を行ってください。また、ゼミクラスの中には、履修時に6セメスターの学生のみ申請可能なクラスが存在します。ゼミクラス一覧をよく確認し、申請してください。

（2）成績・単位数等について

①3・4回生演習で修得した単位数の集計分野

3・4回生演習は、セメスターごとに成績が付与されます。

・自学部で開講される3・4回生演習で修得した単位 → 専門教育科目分野に集計されます

・サブゼミとして他学部で開講される3回生演習で修得した単位 → 自由選択科目分野に集計されます。

②日本語基準国内学生の卒業に必要な要件について

日本語基準国内学生は、卒業するために英語で開講される共通教養科目もしくは専門教育科目を20単位以上修得することが必要です。両言語開講（E/J）の3・4回生演習科目で修得した単位数は、英語開講科目として集計されませんので注意してください。

④ 学位記への分野名称記載について

（2017年度カリキュラム学生）

国際経営学部の各学修分野に配置された科目から12単位以上修得した場合、履修した当該分野の名称が学位記へ記載されます。

アジア太平洋学部では、自身の登録した学習分野の必修科目を2単位以上、および当該学習分野の専門教育科目を28単位修得すると、当該学習分野の名称が学位記に記載されます。

国際経営学部学生、アジア太平洋学部学生ともに、自学部のどの分野の3・4回生演習を履修した場合でも、全ての学修分野に単位がカウントされます。なお、国際経営学部は4単位までが学修分野に含まれますが、それ以上は学修分野に含まれません。

（2011年度カリキュラム学生）

国際経営学部学生が各学修分野に配置された科目、コア科目、演習科目から30単位以上修得した場合、学位記に当該分野名称が記載されます（「学部履修ハンドブック172ページ」参照）。どの分野の3・4回生演習科目を履修した場合でも、全ての学修分野に単位がカウントされます。なお、アジア太平洋学部については、演習科目の単位はいずれの学習分野にもカウントされません。

（3）ゼミの継続履修と、履修ゼミのキャンセル・変更について

一度ゼミ履修が許可されると、4回生演習科目である「卒業論文（2011 年度カリキュラム学生・2017 年度カリキュラム APM 学生）・卒業研究Ⅱ（2017 カリキュラム APS 学生）」の単位を修得するまで、同一の教員のゼミ（メインゼミ）が自動で登録され続けます（ただし、留学・休学で一度ゼミを離れると、自動登録されません）。**現在履修しているゼミの継続履修を希望しない場合は、定められたキャンセル期間でゼミのキャンセル申請を行ってください（履修登録A期間、B期間、修正期間1および修正期間2でキャンセルすることはできません）。また、次セメスターに現在と異なるゼミの履修を希望する場合は、ゼミのキャンセル申請を行ったうえで、希望するゼミに新規申請してください。**詳細はアカデミック・オフィスウェブサイトの「3・4回生演習」のページを参照してください。ただし、「卒業論文（2011 年度カリキュラム学生・2017 年度カリキュラム APM 学生）・卒業研究Ⅱ（2017 カリキュラム APS 学生）」は定められたキャンセル期間ではなく、履修登録 A 期間、B 期間または修正期間 1 のみ、Campusmate 上の履修登録画面からキャンセル出来ます。また、「卒業論文」キャンセルした次のセメスターにも在籍する場合、再度「卒業論文」が自動で登録されます。

（4）必修科目との時間割重複について

各学部の必修科目または言語必修科目と、専門演習の時間割が重複した場合、必修科目を優先し専門演習の履修は削除されます。

5. 申請手順

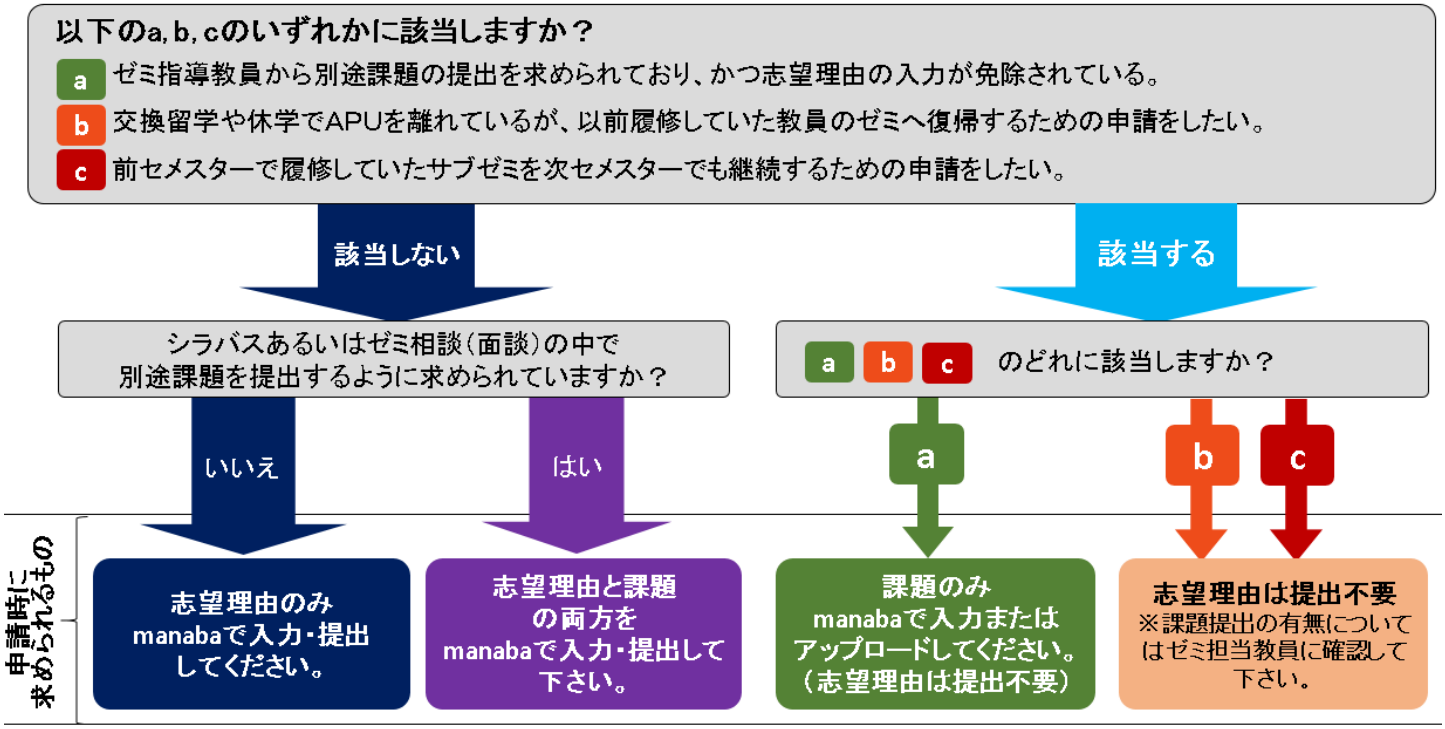
以下の手順に従って申請して下さい。

※サブゼミ履修を希望する場合も、下表と同じプロセスで申請しなければなりません。

手順	内容	日時・期間
1	アカデミック・オフィスウェブサイトの「3・4回生演習」のページで応募可能なゼミクラスを確認 ※メインゼミは第2希望まで申請可能です	5/20～
2	シラバスを読み、履修を希望するゼミについて研究 ※指導教員との面談日時、場所および方法に関する情報が記載されていますので必ず確認して下さい。 ※志望理由や課題についての情報が記載されている場合がありますので、必ず確認して下さい。	
3	指導教員との面談を実施 ※サブゼミの履修申請を行う場合もこの段階で面談を行う必要があります。	5/21～ 6/16
4	下記「5. manaba での志望理由／課題提出」に向けて提出準備を進める。 ※志望理由または課題に対する回答を manaba に直接入力できる期間は 6/17～7/1 の間です。	

	それまでの間は、各自でワードファイルやテキストファイルなどを使って準備を進めてください。 ※志望理由や課題提出の必要の有無については下図1で確認して下さい。 ※サブゼミ履修を申請する場合も、ここで提出準備を進めて下さい。	
5	manaba で志望理由・課題を入力・提出する。 ※入力・提出方法については、「3・4回生演習」のページで確認して下さい。 ※サブゼミ履修を申請する場合も、ここで提出してください。	6/17～ 7/1

図1　志望理由（エッセイ）または課題提出の有無の確認方法



¶留学中、休学中の学生は・・・

留学・休学から復帰後にゼミの履修を希望する場合も、必ず上記の手順に従って新規申請して下さい。ただし手順3については、直接面談を受けることが難しいため、メールや Skype®などを利用して履修相談を受けてください。詳細はアカデミック・オフィスウェブサイトの「3・4回生演習」のページのページを参照してください。

¶交換留学を希望している学生は・・・

交換留学とゼミを同時に並行することは出来ません。いずれか一方を選んでください。次セメスターから交換留学へ行くことを希望しているが、仮に希望が叶わなかった場合にゼミを履修しようと考えている学生は、上記スケジュールおよび手順に従って申請を行ってください。なお、ゼミへの申請後に交換留学派遣の内定が得られた場合は、直ちにアカデミック・オフィスへ演習受講取り消しの申請を行ってください。詳細はアカデミック・オフィスウェブサイトの「3・4回生演習」のページを参照してください。

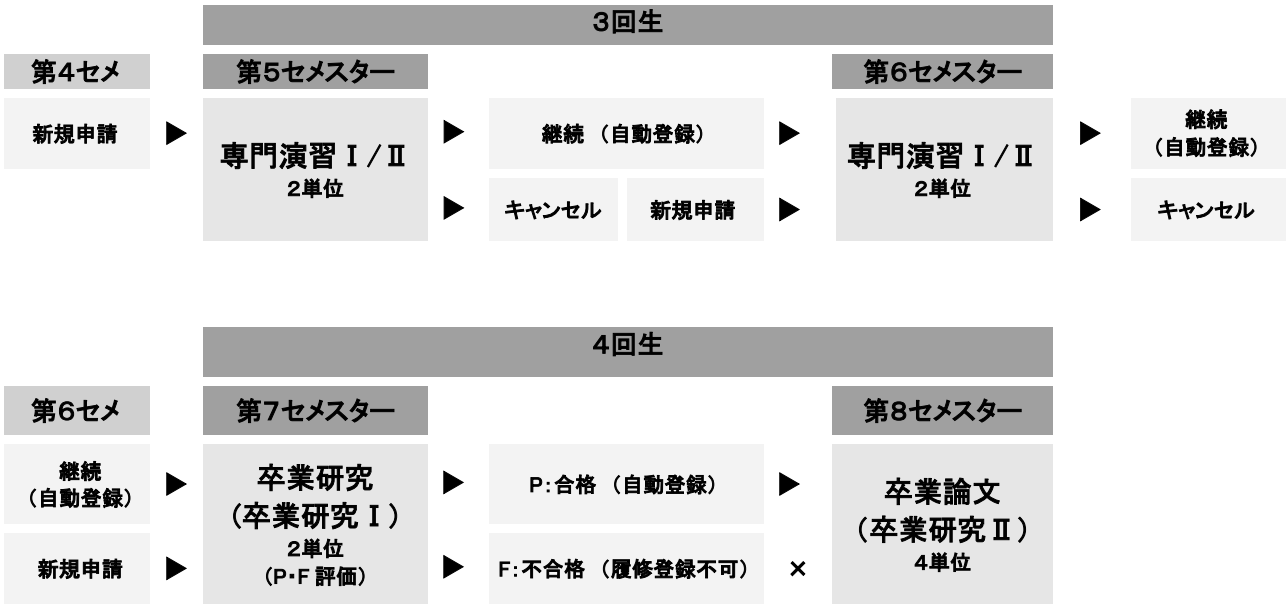
¶転籍を予定している学生は・・・

転籍後の学部で開講されるゼミへ申請することが出来ます。スケジュールおよび申請手順は上記と同じですが、申請期間に、必ずアカデミック・オフィスに相談してください。なお、同申請期間は、転籍手続きよりも前に設定されていますので、転籍が許可されなかった場合に備え、現在所属している学部のゼミへも同時に申請しておくことを薦めます。詳細はアカデミック・オフィスウェブサイトの「3・4回生演習」のページを参照してください。

¶早期卒業プログラムの学生は・・・

上記スケジュールおよび手順に従って申請してください。なお、同プログラムの学生は、3回生・4回生演習科目の履修時期が通常学生と異なりますので、上記②の事前面談時に教員とよく相談し、十分な履修計画を立てた上で申請を行ってください。履修時期等の詳細は、学部履修ハンドブック（P167）およびアカデミック・オフィスウェブサイトの「3・4回生演習」のページを参照してください。

¥参考：3回生・4回生演習の申請時期と履修科目　※詳細は、学部履修ハンドブックを参照してください。



以上